

文化財（未指定含む）の危機



手厚い支援のない未指定の文化財は特に危機的状況
集落が失われ、指定文化財だけが残る可能性も



【諮問】

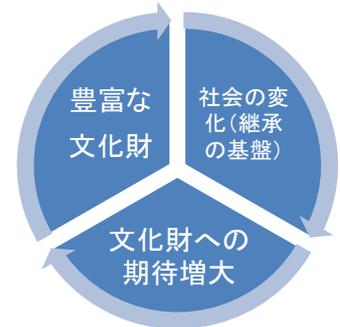
平成29年5月19日 文部科学大臣から文化審議会に諮問

「これからの文化財の保存と活用の在り方について」

- 現在まで守り伝えられてきた多様な文化財は、日本文化全体の豊かさの基盤。後の世代への確実な継承が必要。
- 一方で、社会状況の大きな変化により、文化財の継承の基盤であるコミュニティが脆弱化、地域の文化多様性の維持・発展が脅かされつつある
- しかしながら同時に、文化財が地域振興、観光振興などを通じて地方創生や地域経済活性化にも貢献すると文化財に求められる役割への期待は増大

⇒文化財をいかにして確実に次世代に継承するか、未来に先んじて必要な施策を講じること、これからの文化財行政の在り方についての包括的に検討することが必要

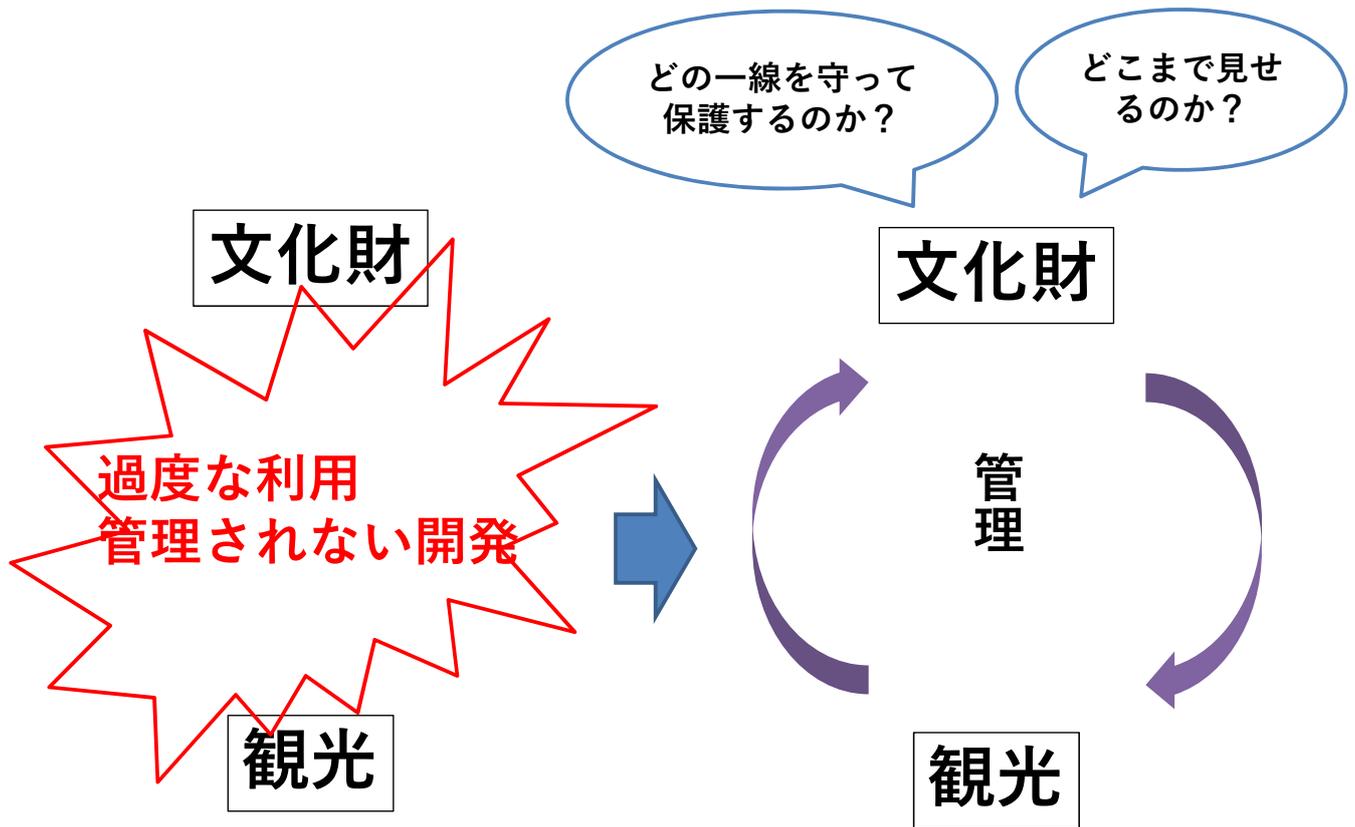
後の世代への継承のために、できることを考える



効果イメージ：地域計画による文化財の総合的・一体的な保存・活用

国が認定した地域計画（市町村が作成）により
地域の文化財の総合的・計画的な保存・活用へ





国（文化庁長官）

都道府県：文化財保存活用大綱の策定 ①

・域内の文化財の総合的な保存活用に係る取組の方針、広域区域ごとの取組、小規模市町村への支援等

市町村：文化財保存活用地域計画の策定 ②



協議会

市町村、都道府県、所有者、文化財保存活用支援団体、地域住民、NPO、商工会、観光関係団体、学識経験者等

地方文化財保護審議会

域内の文化財の総合的な把握
(未指定文化財を含む)

保存・活用のために必要な措置

- ・価値付け
- ・修理管理
- ・ガイダンス施設整備
- ・普及啓発 等

③

文化財保存活用支援団体：市町村は地域計画に記載された保存活用のための措置と活動方針が合致する民間団体を指定し、民間も含め地域一体で文化財継承へ

重要文化財等に指定・選定して個別に保護措置

古民家

遺跡

舞踊

これに加えて、地域社会全体で文化財の継承

仏像

社寺仏閣

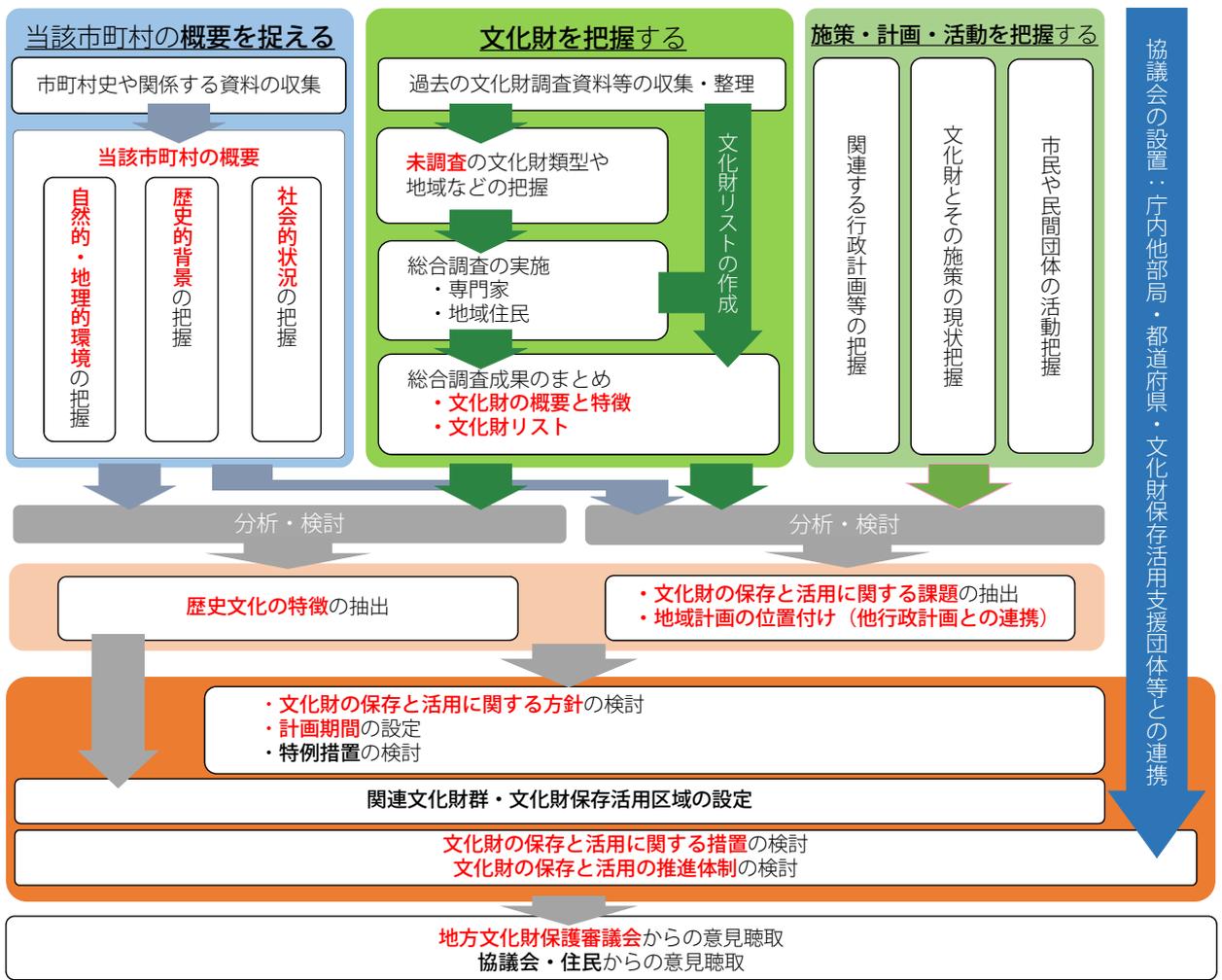
お祭り

地域計画の認定

文化財保存活用地域計画に記載する事項

法第183条の3 第2項		文化財保存活用地域計画策定指針 (20190304指針)	歴史文化基本構想策定指針
基本的事項	第1号関係	当該市町村の概要	地域の歴史文化の特徴
		当該市町村の文化財の概要	
		当該市町村の歴史文化の特徴	
		文化財の保存・活用に関する課題	文化財の保存・活用の基本的方針 策定の目的・行政上の位置づけ
		文化財の保存・活用に関する方針	
	第2号関係	文化財の保存・活用に関する措置	新規項目
	第3号関係	文化財を把握するための調査に関する事項	文化財把握の方針
	第4号関係	計画期間	新規項目
第5号関係	文化財の保存・活用の推進体制	文化財の保存・活用を推進するための 体制整備の方針	
任意事項	関連文化財群に関する事項		関連文化財群に関する事項
	文化財保存活用区域に関する事項		文化財保存活用区域に関する事項
	事務処理特例		新規項目
	その他の事項		新規項目

文化財保存活用地域計画 作成の流れ



協議会の設置・庁内他部局・都道府県・文化財保存活用支援団体等との連携

関連する文化財を総合的にとらえることによりあらたな価値を見出す

関連文化財群（任意項目）

- ① 関連文化財群とは
- ② 関連文化財群の具体事例

137

関連文化財群とは

指針 P 8

- 有形・無形、指定・未指定に関わらず様々な文化財を歴史的・地域的関連性に基づき一定のまとまりとしてとらえたもの（歴文構想指針）

- 地域の多種多様な文化財を歴史文化の特徴に基づくテーマやストーリーに沿って一定のまとまりとして捉えたもの（地域計画指針）

- まとまりをもって扱うことで、未指定文化財についても構成要素としての価値付けが可能
- 魅力的な形でかつ分かりやすく価値を伝えるための効果的な方策の一つ
 - 同類のものだけでなく指定・未指定や文化財類型の枠を超え、人々の活動も含めたまとまりを
 - ストーリーを説明する構成要素は過不足なくリスト化
- 相互に結びついた文化財の多面的な価値・魅力を発見
- 「関連文化財群に関する事項」には、設定の考え方や名称、解説（テーマ・ストーリー）、構成文化財のリスト、地図、その保存・活用の方針や講ずる措置の内容を記載

地域の歴史文化の持続のため、

歴史文化の特徴に基づくストーリーに文化財を位置づけた計画的な枠組み

→ 設定した関連文化財群は一体として保存・活用の措置を講じる

138

関連文化財群のイメージ

歴史文化基本構想のイメージ(例)

有形・無形、指定・未指定を問わず、文化財を相互に関連性のある一定のまとまりとしてとらえる。



関連文化財群ア：鉱山を中心にした近代産業の足跡
 関連文化財群ウ：中近世における農村生活とその習俗

関連文化財群イ：〇〇城及び城下町の関連文化財群
 関連文化財群エ：古代の心を伝える万葉街道

歴史文化の特徴と関連文化財群（岡山県倉敷市）

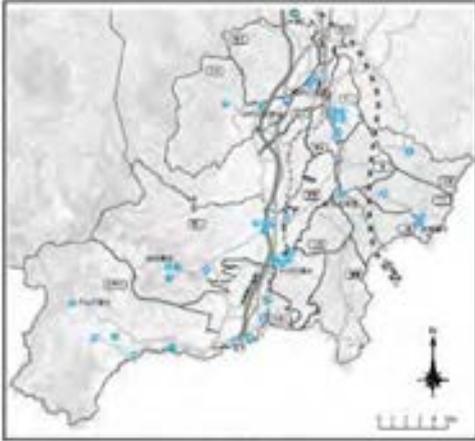
歴史文化の特徴 ↓

関連文化財群 ↓

テーマ	ストーリー
1. 暮らしと文化を支える流通・交易	①海と川を介した流通・交易
	②陸上交通による人や物資の往来
	③干拓と農業
2. 魅力と活力を育む殖産の精神	④海・里・山の恵みを活かした殖産
	⑤繊維産業の展開と継承
	⑥信仰の聖地
3. 地域の個性を反映した信仰	⑦地域性を表す信仰と祭礼・行事
	⑧勢力の狭間
	⑨天下分け目の戦乱
4. 要衝の地に刻まれた記憶	⑩まちの発展を支える水島臨海工業地帯
	⑪景勝を守り、育み、活かす心
5. 文教・美観が織りなす豊かな暮らしと観光	⑫文教が息づくまち

関連文化財群の事例（新潟県妙高市）

妙高市水物語一名水・名瀑・名園と利水施設が織り成す水辺の風景一



No.	名称	種別	No.	名称	種別
1	妙高川	河川	11	妙高川	河川
2	妙高川	河川	12	妙高川	河川
3	妙高川	河川	13	妙高川	河川
4	妙高川	河川	14	妙高川	河川
5	妙高川	河川	15	妙高川	河川
6	妙高川	河川	16	妙高川	河川
7	妙高川	河川	17	妙高川	河川
8	妙高川	河川	18	妙高川	河川
9	妙高川	河川	19	妙高川	河川
10	妙高川	河川	20	妙高川	河川

妙高山がもたらす水の恵みに関連した文化財群

- 数多くの滝・信仰の対象
- 池泉庭園
- 水田開発・灌漑施設
- ダム・水力発電所
- 米作り・酒造り・農村景観

上流水景

上流水景
妙高川の上流には、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。清流は、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。清流は、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。

上流水景

上流水景
妙高川の上流には、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。清流は、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。清流は、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。

上流水景

上流水景
妙高川の上流には、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。清流は、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。清流は、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。

上流水景

上流水景
妙高川の上流には、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。清流は、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。清流は、山脈の山頂から、清流が湧き出ている。

関連文化財群の事例（兵庫県淡路市）

景勝地と和歌や俳句、文学作品などを関連づけるストーリーに含まれる文化財をマッピング

景勝地への来訪

ストーリー

景勝地への来訪

ストーリーの経緯

ストーリーの経緯

ストーリーの経緯

文学作品・物語

文学作品・物語

文学作品・物語

No.	名称	種別	No.	名称	種別
1	淡路川	河川	11	淡路川	河川
2	淡路川	河川	12	淡路川	河川
3	淡路川	河川	13	淡路川	河川
4	淡路川	河川	14	淡路川	河川
5	淡路川	河川	15	淡路川	河川
6	淡路川	河川	16	淡路川	河川
7	淡路川	河川	17	淡路川	河川
8	淡路川	河川	18	淡路川	河川
9	淡路川	河川	19	淡路川	河川
10	淡路川	河川	20	淡路川	河川

関連文化財群の組立（兵庫県神河町）

表 4-2 「かみかみ歴史文化ものがたり」の概要

歴史文化財のテーマ	かみかみ歴史文化ものがたり	ものがたりの構成		構成する歴史文化遺産のうち「神河町で特色づける歴史文化遺産」		
		基本ストーリー	歴史文化ストーリー	もの	ひと	こと
歴史文化遺産の形成	飛騨・高山道に由来のものがたり	飛騨・高山道に由来する飛騨道は、飛騨道ながら今も昔ながらの道である。山をまたぎ大谷の谷間に通ることで多様な地形や気候が広がっており、また、飛騨道は、古くは飛騨山脈の尾根を越えて岐阜県や長野県によって守られてきた山道である。人と動物の往来の便を高めるとともに飛騨山脈をまたいでいる。また、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。また、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。	①飛騨・高山道とその周辺の地形や気候の多様性 ②飛騨山脈の山脈の多様性 ③飛騨・高山道に由来する飛騨道	飛騨・高山道 飛騨道 飛騨山脈の山脈	飛騨道 飛騨山脈の山脈	飛騨道 飛騨山脈の山脈
	清流と水舟に由来のものがたり	飛騨道は、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。また、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。	④清流と水舟の文化 ⑤飛騨道に由来する飛騨道	清流と水舟の文化 飛騨道に由来する飛騨道	清流と水舟の文化 飛騨道に由来する飛騨道	清流と水舟の文化 飛騨道に由来する飛騨道
山をまたぎ、飛騨道に由来のものがたり	山をまたぎ、飛騨道に由来のものがたり	山をまたぎ、飛騨道に由来する飛騨道は、飛騨道ながら今も昔ながらの道である。山をまたぎ大谷の谷間に通ることで多様な地形や気候が広がっており、また、飛騨道は、古くは飛騨山脈の尾根を越えて岐阜県や長野県によって守られてきた山道である。人と動物の往来の便を高めるとともに飛騨山脈をまたいでいる。また、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。	⑥山をまたぎ、飛騨道に由来する飛騨道 ⑦飛騨山脈の山脈の多様性	山をまたぎ、飛騨道に由来する飛騨道 飛騨山脈の山脈	山をまたぎ、飛騨道に由来する飛騨道 飛騨山脈の山脈	山をまたぎ、飛騨道に由来する飛騨道 飛騨山脈の山脈
	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり	飛騨道は、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。また、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。	⑧飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり ⑨飛騨山脈の山脈の多様性	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈
飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり	飛騨道は、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。また、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。	⑩飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり ⑪飛騨山脈の山脈の多様性	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈
	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり	飛騨道は、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。また、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。	⑫飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり ⑬飛騨山脈の山脈の多様性	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈
飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり	飛騨道は、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。また、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。	⑭飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり ⑮飛騨山脈の山脈の多様性	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈
	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり	飛騨道は、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。また、山をまたぎ、飛騨道や山道などの道が通ることで飛騨山脈の山をまたいでいる。	⑯飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり ⑰飛騨山脈の山脈の多様性	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈	飛騨道と飛騨山脈の由来のものがたり 飛騨山脈の山脈

関連文化財群の事例（岐阜県高山市）

人物系譜を軸に据えた関連文化財群

(7) 飛騨の匠



1 飛騨の匠と山林文化にまつる関連文化財群
飛騨の匠は、これを取り巻く山脈が作り出す美しい環境と、豊かな山林・良木・良水が背景となって、織物から山脈の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の匠は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の匠は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。

2 飛騨の山林文化
飛騨の山林文化は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の山林文化は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の山林文化は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。

3 飛騨の匠
飛騨の匠は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の匠は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の匠は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。

1 飛騨の山林

1-1 飛騨の山林山脈

1-2 飛騨の良木

1-3 飛騨の山脈

飛騨の匠と山林文化

2 飛騨の匠

2-1 人物系譜

2-2 工芸品

2-3 飛騨の匠

飛騨の匠と山林文化にまつる関連文化財群

飛騨の匠と山林文化にまつる関連文化財群の構成要素

1 飛騨の山林文化
飛騨の山林文化は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の山林文化は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の山林文化は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。

2 飛騨の匠
飛騨の匠は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の匠は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。飛騨の匠は、飛騨の山脈とつながりながら発展してきた。

市町村独自の取組 —福岡県太宰府市の例—

【取組のポイント】

市民、事業者、行政が協働・連携を図るための共通の枠組みとして「太宰府市民遺産」を提唱。「太宰府市民遺産活用推進計画」(太宰府市歴史文化基本構想)に基づき、住民が文化財のリストアップ・目録化と日常的な見守りを行うとともに、市民・市・関係団体による「太宰府市景観・市民遺産会議」において市民遺産を認定することで、学術的視点だけでなく、地域にとって価値のある文化遺産の拾い上げと継承を市全体で推進している。

【概要】

- 市民が未来に残したい「太宰府固有の物語」・「文化遺産のリスト」・「育成活動」を総合的に「太宰府市民遺産」と捉え、市民からの提案に基づき、市民・市・関係団体による「太宰府市景観・市民遺産会議」が市民遺産を認定。
- 提案にあたって二人以上で育成活動を主体的に行う「市民遺産育成団体」を結成することで、文化遺産と保存活用の担い手をセットで登録。
- 認定された市民遺産を含む文化遺産は「太宰府市民遺産活用推進計画」(太宰府市歴史文化基本構想)に基づき、①文化遺産をそのものとして見守る(リストアップ・目録化・市民による日々の見守り)、②文化財として保護する(学術調査・指定・行政による積極的関与)、③市民遺産として育成する(普及啓発・育成団体の顕彰・滅失のおそれのある場合の届出等)ことで、市民・行政等が一体となった保護を進めている。

【効果】

- 学術的視点から価値があると判断される文化財だけでなく、市民が自らの体験として文化遺産を拾い上げ共有の遺産と認定することで、主体的な保存活動が行われている。



計画の役割
(出典:「太宰府市民遺産活用計画」)



文化遺産の保存活用のイメージ
(出典:「太宰府市民遺産活用計画」)



太宰府の梅上げ行事
(太宰府梅ばやし隊)



太宰府の木うそ
(太宰府木うそ保存会)

認定市民遺産と育成団体例
(出典:太宰府市HP)



100年後も誇れるまち太宰府の、
新たな魅力が再発見される瞬間...

ぜひ、
お立ち会いください!!

第4回 太宰府市 景観・市民遺産会議

日時 平成26年 **3/22**
土 14:00~
16:10
(開場13:30)

会場 九州国立博物館ミュージアムホール
定員250名〈観覧無料・申込不要、手話通訳・要約筆記あり〉



提案予定市民遺産候補
「^{かるかや}対萱の関跡とかるかや物語」
(提案団体：かるかや物語を伝える会)

■育成活動報告予定の市民遺産



太宰府市民遺産第7号
「^{くまのこう}隈麿公のお墓」



未来に届けたい、太宰府のだから



太宰府市民遺産第8号
「^{かやしま}太宰府の絵師 萱島家」

詳しくは、太宰府市景観・市民遺産会議ホームページをご覧ください。

<http://www.市民遺産.jp/> または QRコード▶

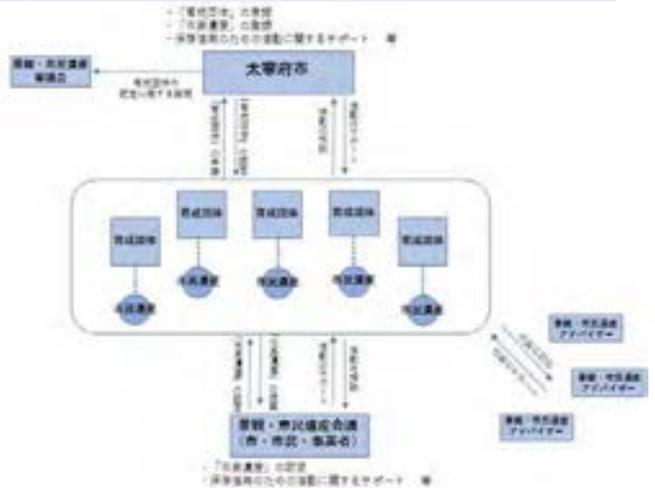


- 主催／太宰府市景観・市民遺産会議、太宰府市、太宰府市教育委員会
- 後援／福岡県、福岡県教育委員会、(公財)太宰府市文化スポーツ振興財団、太宰府天満宮、太宰府市商工会、太宰府観光協会、一般社団法人つくし青年会議所、NPO法人太宰府ボランティアネットワーク、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、FBS福岡放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送、ケーブルステーション福岡
- 問い合わせ先／太宰府市教育委員会文化財課または太宰府市都市計画課
〒818-0198 太宰府市観世首寺1丁目1番1号

☎092-921-2121 内線 470(文化財課)・424(都市計画課)

市町村独自の取組 —福岡県太宰府市の例—

育成団体	「市民遺産」名称	物語を伝承するための活動内容
太宰府木うそ保存会	第1号「太宰府の木うそ」	・木うその制作技術伝承と原木育成・確保
五條風の会	第2号「八朔（はっさく）の千燈明（せんとうみょう）」	・神事「八朔の千燈明」の後継者育成
四王寺山勉強会	第3号「かつてあった道「四王寺山の太宰府町道」」	・「四王寺山太宰府町道」の整備、継承
NPO法人 歩かんね太宰府	第4号「芸術家 富永 朝堂（とみながちょうどう）」	・「富永朝堂」と彼が愛したまちを伝えるまちあるき
太宰府万葉会	第5号「万葉集つくし歌壇」	・つくし歌壇と万葉集の講座・講演会の開催 ・出前授業、万葉歌碑めぐりの開催
辰（とき）山会	第6号「太宰府における時の記念日の行事」	・「時の記念日」の行事の継承
榎文化保存会	第7号「隈麿公（くままるこう）の墓」	
絵師萱島家保存会	第8号「太宰府の絵師 萱島家（かしまけ）」	
かるかや物語を伝える会	第9号「苧萱（かるかや）の関跡とるかや物語」	
太宰府梅ばやし隊	第10号「太宰府の梅上げ行事」	
高尾山の自然と歴史を語り継ぐ会	第11号「高雄の自然と歴史」	



太宰府木うそ保存会

「太宰府木うそ保存会」は、平成10年12月17日に発足し、木うその製作技術伝承と原木育成・確保を目的とし、地元商工会のご協力をいただき、後継者育成講習会や「木うその森」での原木の育成活動などを継続してきました。



1 技術講習会

毎年、太宰府市商工会館で後継者の育成と製作者同士の技術交流を目的に講習会を実施しています。

2 原木の育成活動

市内では石穴と北谷で木うその原材料であるコシアブラの育成活動を毎月おこなっています。



3 絵付け体験

毎月第2日曜日に太宰府館にて、毎年3月の門前祭には太宰府天満宮境内にて絵付け体験教室をおこなっています。

■活動歴など

- 昭和33年 木うそブリュッセル万国博覧会へ出品し銅賞受賞
- 昭和58年 木うそ福岡県知事指定特産民芸品指定
- 平成10年 太宰府木うそ保存会発足
- 平成14年 石穴の環境美化センターに原木を植樹
- 平成16年 林野庁と協定し九重町の「木うその森」を設定
- 平成23年 太宰府市民遺産第1号認定
- 平成23年 伝統文化ポータル賞地域賞受賞
- 平成24年 太宰府市市制施行30周年記念特別表彰受賞

会へのお問い合わせ先

太宰府商工会 〒818-0101 太宰府市観世音寺1-2-1

☎090-922-4345

会のブログ <http://blog.goo.ne.jp/kuso0211>

太宰府市民遺産とは・・・

市民の一人ひとりが、大切に思うモノ・人・出来事。これを将来に伝えていきたいと思う物語と、守り育てる活動に対して、多くの市民が太宰府にとって大切なんだと納得したものです。

太宰府市民遺産（太宰府市景観・市民遺産会議で認められた宝）

＝守り・育てたいモノ＋守り・育てたいモノがゆんできた地蔵＋守り・育てたい「ちから」活動！

【「ちから」活動！の源となる物語・出来事】



■例えば

- まちづくりの基礎をつくりあげた人
- 四王寺山の堂々たる姿が見える場所
- いつもお詣りしているお地藏さん
- 道ばたにある、むかしの道標
- おばあちゃんがやってる数珠くり
- 40年つづく団地の夏まつり



など、将来に伝えたい太宰府の個性がたくさんあります。

太宰府の木うそ

太宰府市民遺産：第1号
認定：平成23年1月30日
景観・市民遺産育成団体：太宰府木うそ保存会
発行日：平成26年1月1日

太宰府市景観・市民遺産会議【URL:<http://www.市民遺産.jp>】



太宰府市民遺産

第1号

太宰府の木うそ



太宰府木うそ保存会



平成25年度文化庁文化芸術振興費補助金
（文化遺産を活かした地域活性化事業）

まのき ふん か は ぞん かい

榎文化保存会

平成24年(2012)、大正9年(1920)生まれの菊武トリスさんは、先々のことを心配して、隈磨公のお墓を榎区で守って頂けないかと相談しました。そこで榎区では、役員らを中心に構成する榎文化保存会を立ち上げ、隈磨公のお墓を守っていくこととなりました。

榎文化保存会では、地域の子ども達に隈磨公の墓の存在とその物語を伝えると共に、菊武賢太郎さん・トリスさんを中心に、周辺の榎区の先人の方々によって維持管理し、守られてきたこれまでの取り組みを広めていき、榎区の文化遺産として「歴史とロマン」をこれからも語り続けたいと思います。

<隈磨公のお墓の世話>

- ・ 周囲の清掃
掃除に使う大きな熊手は、毎年2本、太宰府天満宮から提供されています。
- ・ 餅を供える。
- ・ 太宰府天満宮によって行われる4月15日と7月15日の祭事「隈磨公 春・夏祭り」の協力



春祭り
(平成25年4月15日)

太宰府市民遺産とは・・・

市民の一人ひとりが、大切に思うモノ・人・出来事。これを将来に伝えていきたいと思う物語と、守り育てる活動に対して、多くの市民が太宰府にとって大切なんだと納得したものです。

太宰府市民遺産(太宰府市景観・市民遺産会議で認められた宝)
 ・守り・育てたいモノ + 守り・育てたいモノが多かった物語 + 守り・育てたい「ちから(活動)」
 『ちから(活動)』の源となる物語(思い)



■例えば

- まちづくりの基礎をつくりあげた人
- 四王寺山の堂々たる姿が見える場所
- いつもお語りしているお地藏さん
- 道ばたにある、むかしの道標
- おばあちゃんがやってる数珠くり
- 40年つづく団地の夏まつり

など、将来に伝えたい太宰府の個性がたくさんあります。



太宰府市民遺産ホームページ
<http://shiminisan.jp>

隈磨公のお墓 太宰府市民遺産：第7号

認定：平成25年3月20日
 景観・市民遺産育成団体：榎文化保存会
 発行：太宰府市教育委員会
 太宰府市景観・市民遺産会議
 発行日：平成25年6月8日



太宰府市民遺産

第7号

隈磨公のお墓



榎文化保存会

太宰府梅ばやし隊

梅上げ行事の先頭を行くお囃子隊は、初老、還暦を迎える人たちの家族や知り合いなどで行われていましたが、太宰府市外のグループを招いて、お囃子隊をつくり、町内を練り歩くこともありました。

そこで、市内で三味線やお囃子を永年続けている人たちから「太宰府の伝統行事である梅上げだから、太宰府在住の三味線・お囃子をしている人たちで続けたい」という声があがり、50数名が集まって、平成21年(2012)2月「太宰府梅ばやし隊」が発足しました。

それからは、ボランティアでお囃子を行い、梅上げ行事を支えています。

今後とも、太宰府特有の伝統行事である梅上げ行事がいつまでも続いていくように、太宰府梅ばやし隊として、太宰府の伝統文化の育成及び継承活動に貢献していきます。



<活動内容>

- ・三味線愛好家、お囃子愛好家の育成、技芸の向上に努め、太宰府伝統的文化としての梅上げを盛り上げていく。
- ・梅上げ行事の記録を集める活動。



太宰府市民遺産とは・・・

市民の一人ひとりが、大切に思うモノ・人・出来事。これを将来に伝えていきたいと思う物語と、守り育てる活動に対して、多くの市民が太宰府にとって大切なんだと納得したものです。

太宰府市民遺産(市民遺産)とは、市民が大切に思うモノ・人・出来事。これを将来に伝えていきたいと思う物語と、守り育てる活動に対して、多くの市民が太宰府にとって大切なんだと納得したものです。



■例えば

- まちづくりの基盤をつくりあげた人
- 四王寺山の雄々たる姿が見える境
- いつもお詣りしているお地蔵さん
- 道ばたにある、むかしの道標
- 40年つづく団地の夏まつり



など、未来に伝えたい太宰府の個性がたくさんあります。

太宰府の梅上げ行事

太宰府市民遺産(第10号)
 開催:平成27年2月21日
 原簿:市民遺産育成会(太宰府梅ばやし隊)
 発行:太宰府市観光・市民遺産課
 (公財)太宰府保存協会
 発行日:平成27年7月18日



平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金
 (文化遺産を活かした地域活性化事業)



太宰府市民遺産

第10号

太宰府の梅上げ行事



太宰府梅ばやし隊